

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)  
<http://www.dosyakyu.org/>

第130号

### 応募点数が今年も5600点を超える

### 第63回写真道展審査会報告

#### ■応募の状況

第63回写真道展、第34回学生写真道展の審査会が2月27日、28日の両日、北海道新聞本社において行われ、奥野時夫氏を審査員委員長に、道内各地から参集の写真道展審査会員のほか招聘審査員の写真家2名を加えた27名の審査体制で厳正に進められました。第63回写真道展の応募は、応募者数が439名、応募点数5660点でした。部門別にみますと第1部は2178点、第2部は1328点、第3部が2154点となっております。応募者数をみると、残念ながら第59回をピークに減少が続いています。応募者の内訳をみますと道写協会員が189名、一般の応募者が250名となっております。

また、学生写真道展の応募者数は414名、応募点数が1132点と第30回以降、1000点を超えていて、テーブルに並べきれない状況に主催者としても嬉しい限りです。



審査風景

#### ■審査は整然と厳正に進行

審査会は一日目、ミーティングが行われた後、緊迫した雰囲気の中、学生展の審査から始まりました。学生展では若々しい感性に刺激を受けながら第1次、第2次審査を経て147点に絞られ、第3次審査で入選以上の60点が決まりました。その中から第34回学生展の審査委員長(山下 智)により、田幸千明さん(旭川商業高校)の

「balloon」が北海道知事賞に選ばれたほか、9点の入賞作品を選考して学生展の審査を終了しました。午後からは本展の第一部(自由)、第二部(観光・産業)、第三部(ネイチャーフォト)の1次・2次審査が行われました。引き続き、本郷正利写真協会会長を選考委員長に、6名の選考委員で会友奨励賞の選考が行われ、52点の会友作品の中から会友奨励賞は森木欣一さん(旭川)の「夜のテナントビル」に決まりました。また準奨励賞には吉仲功さん(帯広)、大里清志さん(釧路)の作品が選考され、過密なスケジュールの中、二日目の審査を終了しました。

二日目は写真家の小松ひとみ氏、石津聰氏を迎えての審査です。前日の審査に続いて各部の第3次審査を行い、類似作品、作品の重複の調整等の後、第4次審査を行い、入選以上となる総数270点の作品が決まりました。さらに第5次、第6次審査を経て、全審査員の記名投票により入賞作品が絞り込まれ、全審査員が見守る中、大臣賞に決定した第1部安田敏彦さん(札幌)、第2部中神由美子さん(岩見沢)、第3部小林正輔さん(根室)の作品を前に、奥野審査委員長が小林正輔さんの「朝焼けのなか」を第63回写真道展大賞に選び、審査員一同から拍手の中、全審査を終了しました。

最後に、二日間にわたり審査にご尽力いただきました審査員、関係者各位に心から感謝申し上げます。

また、皆様の感性豊かな作品の第64回展への応募を事務局一同心よりお待ちしております。

第63回写真道展実行委員長 山下 智(記)

## 心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。  
旅の出会いはフォトジェニック。  
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは  
**TEL(011)241-6401**

ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間  
月～金曜日  
9:30～18:00  
土曜日・日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施  
安心と信頼の

# 道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

# 驚きと喜びと！ 第63回写真道展



81歳 まだ現役です

このたびは大賞有難うございます。

カミさんとは、一生に二度は大臣賞を受けてみたいものと平日頃話し合っていました。今回は原野の中で12月半ば朝7時に撮影した1枚が、環境大臣賞と大賞受賞との知らせを頂き、驚きと喜びがひとしおです。

私の住む根室は、いま鮭鱒流し網漁が禁止となり、経済的にも市民の心も沈んでいます。そんな中で、今回の大賞を機会に多くの人に根室に少しでも親しみや関心を持って

## 写真道展大賞

根室支部

小林 正輔

ただき、観光面などにでも少しでも寄与出来れば幸いです。

写真を撮る趣味として三十数年、一番大きな賞を頂きました。81歳、写真はまだまだ現役です。これからも写真とじっくり向き合い楽しんでゆきたいと思っています。本当に有難うございました。



## 会友奨励賞

旭川支部 会友

森 木 欣 一

## 出会いと感動を楽しみながら

受賞作品は、旭川に建築された7階建てのテナントビルの3階から5階を、中通りを挟んだ向かい側にある駐車場の3階から夜に撮影したものです。

少し吹雪かれ、寒くて指の感覚が無くなったのを覚えています。

私は道写協に入会した翌年から道展への挑戦が始まり、幸い7年で会友に昇進させて頂き、会友準奨励賞も頂くことが出来ましたが、今回の会友奨励賞はさらなる驚き



第63回写真道展大賞「朝焼けの中」(カラ)



第63回写真道展 会友奨励賞  
「夜のテナントビル」(カラ)

と喜びで、たいへんたいへん感激しています。

これからも、たくさんの方の被写体との出会いと感動を味わい楽しみなながら、それを一枚の写真で伝えられるよう頑張つてゆきたいと思っています。



今 明美

## 撮影は土曜日！

第2部の「アイス アイランド」は年明けに糠平湖へ遠出したのですが、体調が悪く熱を出しながら撮影したので、とりわけ忘れられない一枚です。

第3部の「双子ちゃん誕生」は福寿草が元気に葉っぱを突き破った姿に感動しながら夢中で撮ったものです。

どちらも気に入っていた作品でしたので、喜

びと感動でいっぱいです。

主婦で仕事もしており、撮影はもっぱら土曜になります。数年前からプリントも自分でするようになり、回数を重ねるごとに表現に二層気を配るようになってきました。道写協で多くの方の作品を見て刺激を受けながら、これからも楽しんでゆきたいと思っています。



## 夫婦で入選

恵庭支部

吉村 剛

登美子

## 4年連続夫婦で入選です

今回も夫婦そろっての入選の知らせを頂き大変喜んでます。実は今年で4年連続で夫婦での入選となりました。

これもご指導いただき先生初め、恵庭支部の皆様方のご指導のおかげと感謝しています。定年後夫婦で始めた写真です。当初地元のコントテストで、揃って入選したときの感激は忘れられません。その後道写協恵庭支部に夫婦で入会し、月1回の例会で勉強させて頂いています。

一緒に出掛けると、互いのレンズを交換しながら撮影しています。これからもいろんなジャンルに挑戦し、見る人に感動してもらえるような写真を目指して夫婦そろって頑張ります。

# 支部探訪―留萌潮

支部長 滝本 国光

## 「けあらし」と「夕日」

冬の朝に気温がマイナス11度以下になると、晴れた日に発生するのが「けあらし」です。凍らない海面や川面に白く立ち上る霧のことで、気象用語では「蒸気霧」と呼びます。漁船や貨物船が「けあらし」に包まれたり、朝陽に輝く絶景は地元のカメラ愛好家に絶好の被写体となっています。夏は砂浜が海水浴客のテントで埋まります。



毎月の支部例会

利尻島や天売島、焼尻島を遠くに望みながら静かに日本海に沈む夕日の美しさは格別です。

## 少数精鋭で

昭和57年、カメラ店を営んでいた塩谷洋次さんを中心に7人の有志で発足し、以来30年以上、入れ替えばあるもの少ない

数精鋭で活動続けています。

年五千円の支部会費は、例会の部屋代や撮影旅行時の燃料代補助となります。

毎月第2火曜が例会です。A4・四切プリントを3〜4枚ずつ持ち寄り、中から好きな2点を選び、選んだ理由、撮影者の狙い、構図や撮り方、ピント、被写体のことなどを自由に話し合い、勉強を重ねています。写真も最近は自分でプリントが出来るようになり便利な時代になりました。DPE店に頼むと東京送りでも1週間から10日程かかりますが私は銀塩にこだわっています。

## あちこちで写真展示

作品は、毎月第2〜3週に留萌開運郵便局、年3回は留萌市立病院に20点を展示。他に今年が11回目の会員展では30点を出品。介護施設からの展示依頼もあります。見て下さった方からの反響も多く寄せられます。このようにたくさんの方に作品を見て頂く機会が増えていることを励みに、これからもいい写真を撮りたいと意気込んでいます。

## 「第25回オホーツクの四季」写真コンテストについて

例年、主催者より北海道写真協会に一名の審査員派遣を依頼され紹介していますが、審査内容については関与してきておりません。

3月9日に審査結果が発表されてから各報道機関その他で、北海道知事賞に選考された作

品について多くの批判が寄せられました。

主催者側は自然環境の配慮に欠けていたとして、すぐに入賞の取り消しとお詫びのコメントを発表しました。北海道写真協会も、同作品が「自然環境・保護」などの配慮に欠けた選考であったと反省しています。今後、審査依頼には慎重に対応しながら、審査員の資質の向上を図り、審査の信頼性を高めるよう努力してまいります。

北海道写真協会会長 本郷正利

## 少人数の良さ

私達写真を趣味とする人間は、おおよそ個性の強い人が多いのですが、少人数だとまとまりやすく、「明日早朝から撮影に…」などフットワークも良く行動できます。

留萌管内のあちこち、上川や、道東まで遠征をしています。今年も旭川男山公園や、深川丸山のカタクリの群生地、滝川の菜の花畑などのベストな時期をうかがっています。

町の中では、働く漁業関係者、漁港でのカレイ・にしん・ホタテ等の網外し作業など被写体がいっぱいあります。さらに地域の行事等多方面に題材を求めて撮影しています。

毎月開催の例会をはじめ、年4回ほどの撮影旅行など活気にあふれた支部活動を続けています。

## 写真展開催の方お知らせください

会報発行時期と日程が合えばPR出来ます。編集担当/山本(011)3866322

## 写真道展予定

札幌道新ぎやらりー	5月12日(木)〜17日(火)
道内各地巡回展	全14市町、網走1月22日(日)
審査委員会・会友展	5月19日(木)〜24日(火)
道写協支部長会議	5月15日(日)AM9時30分
写真道展表彰式	PM1時30分
写真道展祝賀会	PM3時30分



夕暮れ 礼受牧場から(カラー)

## 若い感性をたたえて 学生写真道展表彰式

昨春秋、紅葉が盛りの高文連全道高校写真展・研究大会初日の苫小牧市民会館です。

「創造的で若い感性の溢れる写真を募集します」と書いたリーフレットを応募要項と一緒に手渡しで配りました。この日から始まった「学生写真道展」は3月20日(日)札幌市民ホール会議室での表彰式でフィナーレを迎えました。

414人から1132点の応募があり、選ばれた60作品が入選・入賞となり、この日の表彰に臨んだのは、学生39名と、父母、先生、仲間等大勢の同伴者の方々です。

## 2年連続入賞者も

なかには2年連続入賞の力のある学生も複数いました。表彰者には賞状や記念盾の他、入賞入選作を取めたCDが手渡されました。またプロジェクトで大きく映し出された入賞作には山下 智審査委員長から講評が行われました。

力作ぞろいの作品は、3月17日から23日まで道新ぎやらりーで展示され好評でした。今後各地の巡回展でも展示されます。

## 第34回 学生写真道展表彰式



笑顔晴れやか!

入れ替わりながら表彰式の看板を背に記念撮影です。若い笑顔が次々に弾けていました。

### 支部例会成績

#### 三 笠 支部長 伊藤修身

- ▽1月例会(29日 審査互選)
  - ①金武紀雄②③澤田住子③⑥古平文男
- ▽27年度年度賞
  - 1位澤田住子2位古平文男3位金武紀雄4位高橋英昭5位伊藤修身6位石橋昭次郎7位谷内純哉8位上田進9位当銀敏人

#### 室 蘭 支部長 佐々木昇

- ▽1月例会(25日 中西勉審査会員選考)
  - ①三輪博②山田清滋②柄元幸一③太田秀樹③長澤剛③工藤司郎(入選)鳥海政史 成田正利 田村謙次 大坪恵子 佐藤俊晴 高木妙子 山田しげき

#### 旭 川 支部長 馬場和美

- ▽1月例会(21日 志賀、田村、福田、田本審査会員選考)
  - (特選)①吉田祥子②田中昭一③浦島寛④細川貞子⑤早坂藤男(入選)吉田清治郎 森田正義 伊藤勝利 小山満 鈴木幸雄 池田政人
- ▽3月例会(10日福田光男、田本賢審査会員選考)
  - (特選)①細川貞子②浦島寛③小山満④吉田祥子⑤白鳥敏昭(入選) 佐藤繁雅 伊藤勝利 武田千枝子 宮野和子 吉田清治郎 田中昭一

#### 小 樽 支部長 川原静雄

- ▽2月例会(3日 嶋田洋子審査会員選考)
  - ①嵯峨秋雄「朝陽」②佐々木博③小林好江④成沢克郎⑤松居秀昭⑥白石純⑦根本辰男⑧一条周一



2月例会 1位「朝陽」(カラー) 嵯峨秋雄

#### 釧 路 支部長 岡本雄毅



3月例会 1位「雪原を駆ける」(カラー) 中嶋淳一

#### ▽1月例会(14日 奥野時夫審査会員選考)

- ①長尾芳文②橋本憲 ③蛭名昇④水谷博之⑤松坂正彦⑥内海大輔
- ▽3月例会(10日 工藤「男審査会員選考」)
  - ①中嶋淳一「雪原を駆ける」②林田定昭③富田智春④水谷博之⑤蛭名昇⑥北構善一朗

#### 札 幌 支部長 山本隆晟

- ▽12月例会(18日 森哲審査会員選考)
  - ①今明美②小賀野京子③安田敏彦④村上和子⑤山本隆晟⑥山形典夫⑦澤田一夫⑧城伊志勝⑨萩田貞子⑩藤田万理子
- ▽1月例会(15日 内山明子審査会員選考)
  - ①村上和子②三橋和雄③千葉久④難波江⑤小賀野京子⑥澤田一夫⑦山本隆晟⑧坂本幸夫⑨萩田貞子⑩木全止樹
- ▽27年度年度賞
  - 1位村上和子2位今明美3位安田敏彦4位山形典夫5位山本隆晟6位藤田万理子7位萩田貞子8位林繁造9位小賀野京子10位澤田一夫
- ▽3月例会(11日 阿部悦子審査会員選考)
  - ①村上和子②今明美③坂本幸夫④香取征子⑤萩田貞子⑥安田敏彦⑦山形典夫⑧笈川浩一⑨難波江⑩城伊志勝

#### 留 萌 支部長 崎出恒夫

- ▽12月例会(13日 審査互選)
  - ①谷幹浩②加藤美佳③高山亮太④崎出恒夫⑤畑忠幸
- ▽1月例会(17日 審査互選)
  - ①高山亮太②畑忠幸③崎出恒夫④谷幹浩
- ▽3月例会(13日 審査互選)
  - ①②③④松葉師正④加藤美佳④崎出恒夫

#### 恵 庭 支部長 西澤 實

- ▽12月例会(14日 審査互選 テーマ「祭り」)
  - ①村井正人「主役は夜に」②山下支朗③田中康夫④小坂橋勝④吉村登美子⑥佐野ミヨ
- ▽2月例会(8日 審査互選)
  - ①田中康夫①五東建夫③今莊義弘④佐野ミヨ④加藤憲秋⑥村井正人⑥吉村登美子⑧山下支朗⑨菅原恵子



12月例会 1位「主役は夜に」(カラー) 村井正人

#### 余 市 支部長 一戸弘利

- ▽3月例会(14日 審査互選)
  - ①今莊義弘②佐野ミヨ③加藤憲秋④吉村剛⑤服部健治⑤田中康夫⑤小坂橋勝⑤山下支朗⑤吉村登美子
- ▽1月例会(16日 審査互選)
  - ①②⑤⑦石岡誠三③⑦金子勝彦③⑧一戸弘利④⑥⑦塩野謙造⑦青木延広
- ▽2月例会(7日 審査互選)
  - ①②⑤塩野謙造②④一戸弘利③④⑤⑥石岡誠三⑥藤田聡子
- ▽3月例会(12日 審査互選)
  - ①②⑥谷橋準②⑤⑦塩野謙造③⑥谷橋誠子④金子勝彦⑤石岡誠三⑦一戸弘利

#### 栗 山 支部長 黒田幸則

- ▽1月例会(22日 山岸幸雄審査会員選考)
  - ①②敦賀千恵子②③(2点)中島武士③齋藤優子(入選)中島武士4点 齋藤優子2点 敦賀千恵子 志田静治

#### 写真道展審査会員

#### 大和俊行先生を偲んで



写真道展審査会員の大和俊行先生は、21年間の長きにわたり函館支部長として、その後は審査会員として後進の指導に尽力されました。

「リアリズム写真」を得意とされ、晩年も作家活動に意欲を燃やしおりましたが、昨春秋頃から体調を崩され病院で検査を受けていましたが原因が判明せず、自宅にて療養生活を送っておいりました。

今年1月19日、体調が急変し意識が戻らないまま帰らぬ人となりました。享年86歳でした。

なお、葬儀は1月22日ご家族の見守るなか、しめやかに営まれました。

大和先生のご逝去を悼み、謹んでお悔や申し上げるとともに、心からの冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

道展審査会員 吉江和幸

#### 編集後記

第63回写真道展に入賞・入選された皆様、おめでとうございます。この感動、喜びを忘れずに、ますますご健闘下さい。

審査会員として活躍されていましたが、大和俊行氏のご逝去を悼み、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

受賞された多くの皆様から原稿をお寄せ頂き、深く感謝致します。

森